

教科横断型授業 「国語」×「音楽」

学習指導案

主題（教材）		「蛍雪の功」を理解し、「蛍の光」を多角的に表現してみよう			
目標	卒業式で歌われている「蛍の光」は故事成語と深い結びつきがあり、また、その旋律は西洋音楽であることに注目し、東西文化の融合と芸術における多様性を実感させる。				
指導 過程 整理	学習活動	時間	指導上の留意事項	資料等	
	導入	5	○フレーズのまとまりを意識して「蛍の光」を聴くよう促し、歌詞の意味を考えさせる。	○タブレット ○ロイロノート ○ワークシート	
	展開	1 「蛍雪の功」について理解する。	10	○「蛍の光」の歌詞は「蛍雪の功」から成り立っていることを説明し、理解させる。	○タブレット ○パワーポイント ○ワークシート
		2 「蛍の光」の旋律について理解する。	25	○7音音階、5音音階について説明し、「蛍の光」の旋律が構成されている音階について理解させる。5音音階の成り立ちを通して、東西文化の共通点、相違点についても理解させる。	○教科書（音楽）
		3 「蛍の光」を手話歌で表現する。		○歌詞の意味を考えさせた上で手話単語をレクチャーし、手話歌で表現させる。	
4 グループで手話歌「蛍の光」を発表する。		○歌詞の意味を深く理解し、音楽表現の多様性を実感させる。			
整理	○東西文化の融合、表現の多様性について考える。 ○振り返りシートを記入する。	10	○日本の歌として慣れ親しんでいたものが実は東西文化の融合であったことを理解させ、「伝える」方法は多様であることを考えさせる。	○タブレット ○ワークシート	
備考					